

平成24年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 田町川

調査場所： 飯田線上流部 下西浦橋下流位置

調査日時： 6月11日(月)AM11:30 ~ 13:00

調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇

1.モニタリング調査参加について、

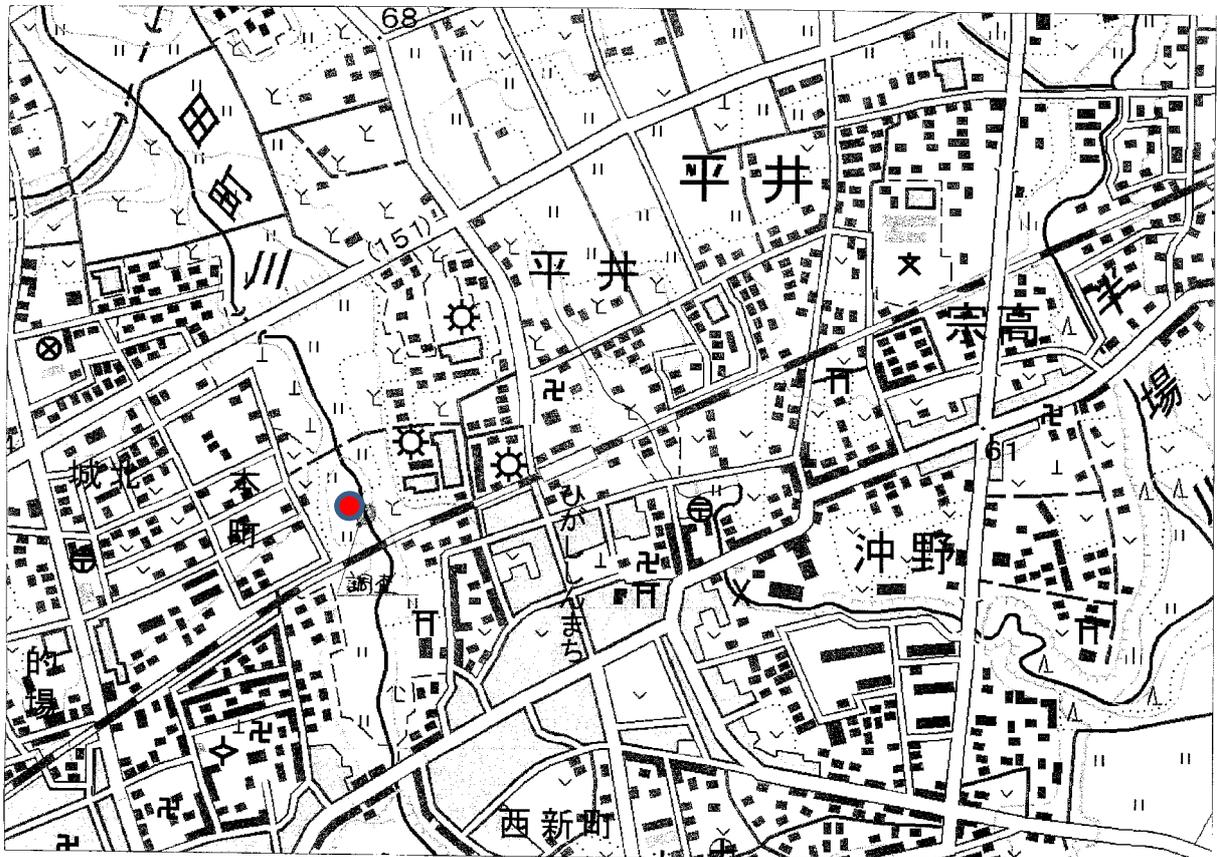
あいちの水循環再生指標を基本に、近隣の河川の調査を行い環境にたいし関心をもってもらうには都合の良い調査と思われる。

小さい頃は、魚釣り、石垣護岸でウナギを捕まえたりして遊んだ思い出のある小川であったが、大人になり護岸工事を終えたこの川で遊ぶことも無くなり、時々蛍が数匹飛ぶのを見る程度の川となった。

身近な川でありながら、環境や状況を知る機会を持たず疎遠になっていたが、この様な調査に参加することで昔のように自分にとって、身近な川となり環境に気をつけ見守りたい。

2.調査箇所、

新城市平井地官、西浦地区



3.水のきれいさ(平均 4.0点)について、

水の色、におい水に浮いた油や泡については評価は5である。

水のにごり・底の感触は、工事による土砂混入が去年ほどでないため、意外と水は澄んでいる。よって、評価4とした。ただし、工事がらみの土砂が堆積して川幅を狭くしているのは確かである。

その土砂により生物が少なくなり、特に蜚が飛ばない状態である。

4.水の量(平均 2.5点)について、

流量河川断面 $A= 0.26\text{m}^2$

水面幅 $B= 2.6\text{m}$

流速 $V= 0.15\text{m/S}$

流量 $Q= 0.04\text{m}^3/\text{S}$

今回の調査では、雨量が少ないため宇蓮ダムの水位が下がり給水制限が出る直前であり、流量が去年より極端に少なくなっている。

湧水については付近に形跡がない、よって評価できず。

5.生態系(平均 2.8点)について、

生態系の様子として、かわむつ・ヨシノボリ等が少々生息しているが、去年と違ってカワニナの確認ができていない。地元では、今年、蜚の飛ぶ姿が見えないということで、非常に残念がっていました。

外来種では、アメリカザリガニの生息は少々だが確認できる程度。

その他、石の下に棲む水生生物について、土砂の流入・堆積もあり生息の確認が出来なかった。

水際・周辺の植物については、護岸が整備されているため多くの種類はないが、緑があるという程度。去年確認した「はぐるとんぼ」は今年の確認は出来なかった。

6.水辺のようす(平均 1.8点)について、

ゴミは去年と違ってところどころにあり、少々気になり評価は3とした。

水の透視度調査では、去年ほどの工事土砂流入が少ないことにより濁りが意外となく70cm程度まで確認できた。その他の調査では、水辺の利用・自然度についての評価1とした。が、地元の話で神社に近いことと川全体として、緑があり上流部護岸には桜もありその姿は中々好きという意見は聞いたが、工事の土砂は何とかならないのかという意見もあった。

調査区域に家はあるが人影も散歩している人も見られず、ヒアリング調査を少し離れた人にした。

散歩・環境学習・保全活動について、川として眺めながらの散歩は最近していないし、環境についての学習や活動は見たことが無いとのこと。

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	24年6月11日(月) 午前11時30分		
名前	西尾幸男、服部亮男	調査場所	田町川 川の幅 2.6 m		
		参加人数	人	天気	  

水温: 20.5, 19.0

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← → 利用しにくい水						
1. 水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	5点	平均 4.0点
2. 水にごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	4点	
3. 水におい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5点	
4. 水に浮いた油や泡	泡はない 油のまきはない	中間	泡が少しある 油のまきが少しある	中間	泡が多い 油のまきが多い	5点	
5. 水の底の感しよく	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	4点	
6. CODパックテスト [®] 調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	1点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ← → 流れがほとんどない						
1. 流れのはやさ	水面に波があるような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	3点	平均 2.5点
2. 流れの変化	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2点	
3. わき水のようす ^{※1}	以前と変わらない水量のわき水(湧水)がある	中間	少ないけどわき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)がなくなった	1点	
4. 川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5. 川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒~60cm/秒	20cm/秒~40cm/秒	10cm/秒~20cm/秒	10cm/秒未満	2点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

・伊豆半島の工事工事が進捗し魚がいなくなった。水はけがよくなり澄んでいる。
・地元住民から、川幅が狭くなり魚が住めなくなっている。

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。

評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

ホタルも減少している。

せいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	3点	平均 2.8点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	3点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がある	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	3点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	2点	

ヨシボリ・アメリカザリガニ

みすべ
水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみが ところどころある	中間	ごみが多い	3点	平均 1.8点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で遊びたい	中間	ながめたり さんぽをしたい	中間	近づきたくない	1点		
3.水辺への 近づくやすさ ※2	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	2点		
4.水辺の自然度 ※3	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	1点		
5.水辺の景観 けいかん	全体が調和していて ここちがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	3点		
ヒ ア リ ン グ 調 査	6.散歩・レジャー さんぽ	多くの人に毎日のように 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		1点
	7.環境学習 かんきょうがくしゅう	多くの人に 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		1点
	8.環境保全活動 かんきょうほぜんかつどう	多くの人 が活動している	中間	ときどき 活動している人がいる	中間	活動している人が いない		1点
9.透視度 とうしど cm	80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数

※特に重要と考える
調査項目を選択

選択項目点数

点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

神社に近いところの森がある位、石岸指定地と近い
いるので森はない。

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。



田町川

6月11日

下流より

P6110169



流量観測

P6110168



CODパケットテスト

P6110170

田町川

